

アドミッション・ポリシー(抜粋)

育てる人間像

理工学に関する高い専門性を身に付け、かつ、他者と共創して柔軟で総合的に課題を解決していける人材を養成します。
自然環境や環境技術について正しい知識を身に付け、科学技術による環境問題の解決に貢献できる人材を育成します。

求める人物像

- ① 科学技術を学ぶために必要な基礎学力を身につけた人
- ② グリーン社会の実現やデジタル技術の活用に興味があり、積極的に自己学習のできる人
- ③ 研究者や技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

入学試験情報(予定)

学 科	入学定員	一般選抜		特別入試
		前期日程	後期日程	総合型選抜
応用化学生物学科	100名			
環境数物科学科	90名			
社会システム工学科	125名			
計	315名			

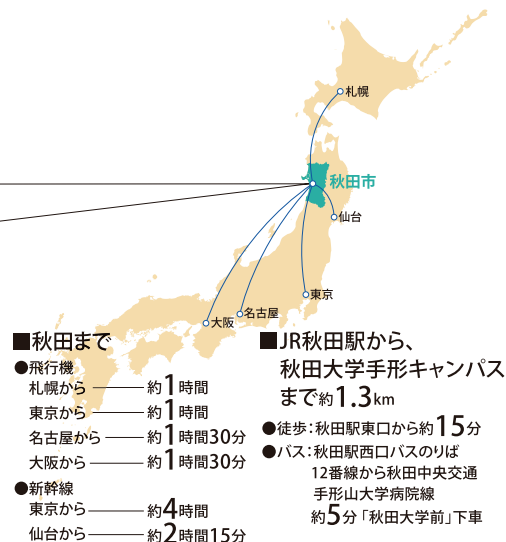
※学科別入試(総合型、前期、後期)を実施し、入試科目は数学(数Ⅲを含む)、理科(物理、化学、生物から選択)を予定しています。

学費情報(令和5年度現在)

入学料(予定額)	282,000円	授業料(予定額)	年額535,800円(半期267,900円)
----------	----------	----------	------------------------

※授業料の改訂が行われた場合には、改訂時から新しい授業料が適用されます。

アクセス



秋田大学 大学院理工学研究科

総務担当

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1
Tel.018-889-2305 Fax.018-889-2300
E-mail: koso@jimu.akita-u.ac.jp

2023年10月発行

※現時点での構想であり、変更があり得ます。新学部名称・学科名称等は全て仮称です。

令和5年10月時点情報



秋田大学 理工学部は 「総合環境理工学部」へ (仮称) 生まれ変わります

2025年(令和7年)4月



地球規模での環境問題に対する科学技術の役割は時代とともに大きくなってきています。また、「一人ひとりが多様な幸せを実現できる社会」が求められるようになっており、これを実現するには様々な専門性をもつ人々が集い、協力して社会の諸課題に対応を図っていくことが必要です。

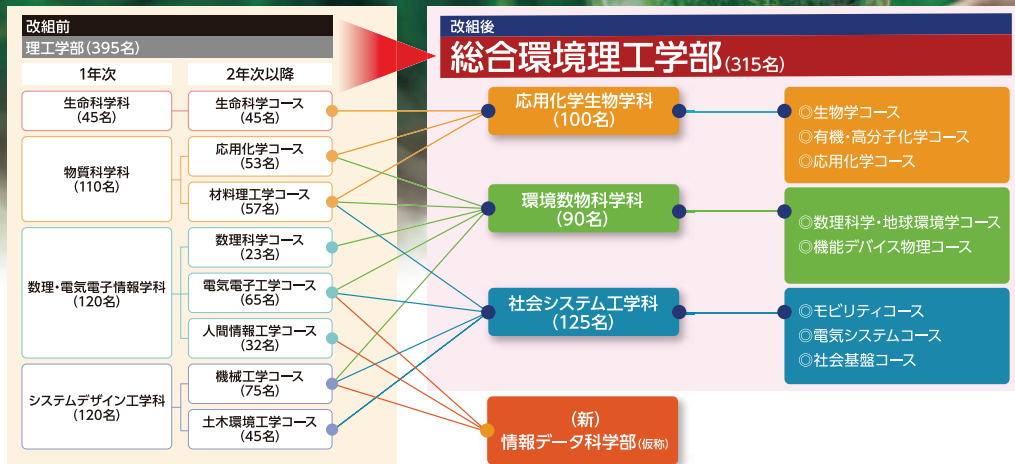
現在の理工学部を改組して設置する総合環境理工学部(仮称)は、理工学の基礎と応用を総合的に学ぶことができるように4学科8コースを3学科に統合するとともに、グリーン社会実現に関連した科学技術分野の教育研究を強化します。確かな専門性を身に付け、専門分野にデジタル技術を活用する能力や異なる専門分野を理解して協力できる能力を育み、新しい時代で活躍できる人材を養成します。

※「グリーン社会」とは、2020年当時の菅総理大臣の臨時国会での所信表明演説の中で、経済と環境の好循環を成長戦略の柱とし、脱炭素化と経済成長を両立する社会として使われた言葉です。これを実現する人材が「グリーン人材」です。

※現時点での構想であり、変更があり得ます。新学部名称・学科名称等は全て仮称です。

学部改組の概要

- ◎グリーン社会の実現とデジタル技術に関連した教育と研究を強化します。
- ◎既存の「4学科8コース体制」から「3学科体制」に再編します。



教育課程の概要

- ◎1年次～2年次前期には教養基礎科目や「総合環境理工学教育科目」(学科横断的な必修科目)を履修し、2年次後期からは各コースの専門性の高い科目を履修します。
- ◎他学科の科目も学んでもらい、グリーン社会の実現に関して分野横断的に幅広い知識を学修します。
- ◎数理・データサイエンス・AI教育を必修化し、自らの専門性にデジタル技術を活用できる能力を身に付けます。
- ◎4年次には、3年次までに学修した専門とグリーン社会との関わりについて調査・発表したり、修得した知識を活用して卒業課題研究を行うことで、総合的に課題を解決できる能力を養います。

応用化学生物学科



化学と生物学を学び両方の知識を使いこなし、グリーン社会の実現に貢献できる人材を養成します。人の健康を支える製薬業や医療機器関連企業、および脱炭素社会に向けて変革する化学関連企業などで科学技術者として活躍できます。

生物学コース

化学と生物学分野の基礎と分子生物学、細胞生物学、生理学、生物化学工学などの生物学の専門分野を学び、人間の健康維持や自然環境の保全およびバイオ生産などの諸課題に化学と生物学を総合した観点と高度なバイオ技術で取り組むことができる人材を養成します。

有機・高分子化学コース

化学と生物学分野の基礎と有機化学、高分子化学、生化学、有機材料科学などの複合専門分野を学び、医薬品や農業および化学素材の製造業、食品産業、検査・分析機関などの現場で化学と生物学を総合した観点と複合専門技術で貢献できる人材を養成します。

応用化学コース

化学と生物学分野の基礎と無機材料科学、電気化学、反応工学、エネルギー変換材料科学などの化学の専門分野を学び、グリーンエネルギーの創出や環境浄化および脱炭素化社会の実現などの諸課題に化学と生物学を総合した観点と高度な化学技術で取り組むことができる人材を養成します。

想定される就職先

- ◎製薬関連
- ◎環境関連
- ◎医療機器関連
- ◎化学関連
- ◎食品関連

※現時点での構想であり、変更があり得ます。新学部名称・学科名称等は全て仮称です。

環境数物科学科



自然と共生し環境へのリスクを大幅に減少させながらも経済成長を続けるグリーン社会の実現に取り組む人材を育成します。自然科学の3つの分野またはエレクトロニクス・材料科学の深い専門性を身に付けると同時にデジタル技術にも詳しい研究者・技術者として世界に羽ばたいていきます。

数理科学・地球環境学コース

自然科学の3つの分野を専門として、数学の分野では方程式、関数、図形や空間の理論、物理学の分野では量子科学、地球科学の分野では地球環境の仕組みや構成する物質をそれぞれ学びます。自然の摂理から学び社会に貢献できるデータサイエンティスト、技術者を養成します。

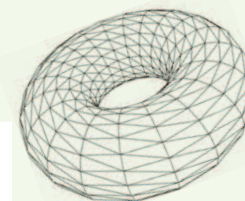
機能デバイス物理コース

電子系の分野では物理法則をデバイスに応用する技術、素材・材料系の分野ではその機能を向上させるもしくは新しい機能を創出する技術を学びます。持続可能社会の実現に貢献する環境負荷の小さい高性能情報通信関連デバイスおよびそれに用いる素材・材料の知識を身に付けた技術者を養成します。



想定される就職先

- ◎情報通信関連
- ◎金融関連
- ◎半導体・電子部品関連
- ◎素材・材料関連
- ◎教員・公務員



社会システム工学科



生活に不可欠な航空機や自動車などのモビリティ、それを構成する素材、脱炭素に寄与する電気システム、人とまちをまもる社会基盤、それらを専門的に深く学べます。持続可能で豊かな未来社会を築く技術者になることができます。

モビリティコース

次世代の飛行機、鉄道、自動車、その他の移動体など、新しいモビリティ開発に貢献できる人材を養成します。機械工学の基礎をなす四力学に加え、材料科学・工学の専門知識を総動員して、サステナブルな社会実現に資する先進モビリティの設計・開発に貢献できる技術者・研究者を養成します。

電気システムコース

電気システム分野の専門知識を活用し、環境対応技術を進歩させ、持続可能な社会システムの構築に貢献できる人材を養成します。輸送機およびそれら関連電気機器の製造開発、エネルギーインフラおよび再生可能エネルギー導入に関連する事業、電気電子情報通信に関連する製造・サービス業などに有為な人材を養成します。

社会基盤コース

環境に配慮し災害に強い道路や河川・港湾、橋梁などの社会基盤の構築と、それに基づいた強靱で持続可能な地域社会の発展に貢献できる人材を養成します。地球規模での環境倫理観をもち、すべてのひとにとって安全・安心・便利となる地域社会システムの設計、さらにその維持管理に貢献できる技術者・研究者を養成します。

想定される就職先

- ◎航空機関連
- ◎自動車関連
- ◎素材関連
- ◎電力・再エネ関連
- ◎建設関連
- ◎技術系公務員



※現時点での構想であり、変更があり得ます。新学部名称・学科名称等は全て仮称です。